

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

岡崎 好典

1. 授業の概要(ねらい)

本ゼミは実社会に出ると先ず新入社員に求められる5つのスキル、①積極的行動力、②正しい礼儀作法、③コミュニケーション力、④ホウレンソウやスピーディな動作、⑤自ら考え発言実行する自主性を多少でも身につけるように、鉄道・バスなど陸上交通等に関心がある学生(観光、企業経営に関心があれば交通に限らず)をゼミ生として、研究テーマをグループまたは個人に分かれて調査研究し、発表、論文を書き上げて「報告書」を作成します。その作成過程でグループディスカッションを行い、他人の意見を聞き、研究テーマについて、さらに新たな気づきを得て、もう一工夫して、それを論文に展開する作業をします。このように自ら考え他人の意見を活かして、作られた論文をきちんと説明できることは、就職活動だけではなく、その後の社会人生活でまちがいなく役立ちます。

「好きなこと」「興味のあること」であれば、困難な時にあきらめず、逃げずに、続けられると思っています。しかし、そうでない時も使命感・責任感が必要です。私は研究には絶えず新しいことに挑戦する意欲、苦勞を楽しみながら創造的な思考を鍛える演習を目指します。

2. 授業の到達目標

- ①自らの興味・関心を明らかにした上で、自主的に研究テーマを設定し、取り組み、対象分野・範囲を絞り込み、研究方法を考え、研究計画スケジュールを立てることができる。
- ②研究計画書が要求する文献調査・現場調査等を学修して、問題に対する解決手法を修得する。
- ③グループでの協働ができ、1年間の研究活動をまとめて発表、またはレポート論文作成ができる。

3. 成績評価の方法および基準

評価はレポートが50%、発表30%、質疑応答への参加、主体的なゼミ運営への貢献が20%の配分によって総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用しない。各テーマに合った文献紹介や資料配布する。

参考文献

川喜田二郎 著 『発想法 創造性開発のために』 改版 中央公論新社

斉藤孝 著 『質問力 話し上手はここがちがう』 筑摩書房

澤田昭夫 著

『論文の書き方』 講談社

稲葉崇志 著

『「A4一枚」から始める最速の資料作成術 社内プレゼン発OK!』 CCCメディアハウス

5. 準備学修の内容

通年で取り組む研究テーマに対して受けた意見・アドバイスに対して、積極的に対応し、最終報告書(レポート)へ反映すること。

就職活動に備えて時事問題(COVID-19等)・観光ニュースに興味をもって情報収集し、自分の見解、まとめを1分(300字)で言えるように備えておくこと。

6. その他履修上の注意事項

演習系科目のため出席は必須である。ゼミは、自らの研究・調査・まとめを通じて「楽しく学びながら成長する」ために存在するので、積極的に取り組むこと。研究テーマを基にグループ討議し、「考え行動する→自分の言葉で表現する」を繰り返すことによって、就職活動や社会に出て役立つプレゼンテーションの練習をすること。

最後に今回は13回目かLMSによるオンライン授業となるので、各回の授業内容を注意して読んで下さい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 夏期休業中の成果報告 研究計画に対するコメント(1) |
| 【第2回】 | 夏期休業中の成果報告 研究計画に対するコメント(2) |
| 【第3回】 | 成果報告に対する他のグループからのアドバイス(課題・問題点) |
| 【第4回】 | 調査・研究結果の掘り下げ(1) |
| 【第5回】 | 調査・研究結果の掘り下げ(2) |
| 【第6回】 | 調査・研究結果の掘り下げ(3) |
| 【第7回】 | 調査・研究結果中間発表、他のグループからのアドバイス(良い点・改善点) |
| 【第8回】 | キャリアガイダンス(先輩の就活Q&A) |
| 【第9回】 | 論文構成(目次)の作成 |
| 【第10回】 | レポート論文執筆(1) |
| 【第11回】 | レポート論文執筆(2)・発表要旨の作成(1) |
| 【第12回】 | レポート論文執筆(3)・発表要旨の作成(2) |
| 【第13回】 | レポート論文執筆(4)・発表要旨の作成(3) (LMSによるオンライン授業) |
| 【第14回】 | ゼミ内最終発表、質問とディベート準備、レポート論文提出(1) |
| 【第15回】 | ゼミ内最終発表、質問とディベート準備、レポート論文提出(2) |

※授業の計画はあくまでも当初の予定であり、新型コロナ(COVID-19)感染状況・訪問会社や講師の都合・授業進捗によっては変更されることがある。